

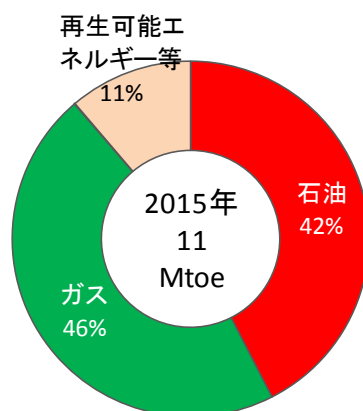
5-8 チュニジア

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2015年) : 11 百万 toe (日本の 0.03 倍)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量 (2015年) : 0.97toe (日本の 0.29 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2014年) : 58%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 25.6 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 2.2%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 2.30 CO₂ 換算 ton (日本の 25.6%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2016 年末) : 原油 18.4 年

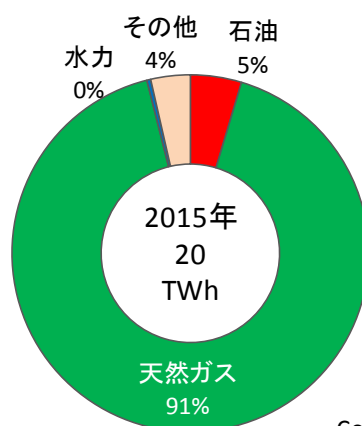
一次エネルギー供給構成 (2015年)



Country: Tunisia

(出所) World Energy Balances 2017, IEA

発電電力量構成 (2015年)



Country: Tunisia

(出所) World Energy Balances 2017, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- エネルギー行政は産業・エネルギー・鉱山省が所管し、大臣はHela Cheikhrouhou 氏(2016年8月就任)である。
- 省エネルギーおよび再生可能エネルギー政策は、産業省の元にある ANME が担う。
- 石油・天然ガスの探鉱・開発は、1972年に設立された国営 ETAP が担う。石油精製は国営 STIR が担う。電気事業(発送配電)と天然ガス供給は、1962 設立の国営電力・天然ガス会社である Societe Tnuienne de lde lienne de etdu Gaz (STEG) が担う。

(2) 基本政策

- チュニジアは石油と天然ガスの産出国であるが、2000年に一次エネルギー供給の純輸入国となり、その後も需要の増加と生産の減少によって需給ギャップが拡大している。これを可能な限り抑制することが、重要な課題となっている。
- 2013年6月27日に国家エネルギー会議(Le d013年 national de l'ational)の第1回会議が開催された。この会議体は、同国のエネルギーに係る2030年までの長期ビジョン策定を目的としている。同会議体での議論には次のものを含む。
 - 石油製品需要の増加と国内生産量の減少による需給ギャップ拡大
 - 石油製品輸入費用、補助金費用の財政負担拡大とエネルギー補助金の段階的廃止
 - 電力需要増加に応じた供給力確保、省エネと再生可能エネ利用拡大の必要性

(3) 最近の動向

- オーストリアの OMV は2017年6月、11億ドルの Nawara ガス開発プロジェクトをチュニジア南部の Tataouine で開始したと発表した。OMV の広報担当者は、「封鎖は終結した。Nawara での作業を再開できる」とした。しかし、最初にガスが生産に至るのは2019年になる見込み。
- チュニジアの石油生産は2017年6月半ばに25,000b/dに低下した。これはEniのEl Borma と Adam 及び OMV の Cherouq を含むチュニジア南部の重要な油田の全てが停止したことによる。6月17日からは生産は急回復しているが、月間の生産量は平均で約32,000b/dで、1966年以降で最低の水準となった

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- STEG は2017年7月、三菱日立パワーシステム(MHPS)と住友商事に Rades 近郊の Tunis 港での450MWのガス・コンバインド・サイクル発電所のEPC契約を発注した。プラントは2019年5月に発電を開始する予定で、2020年4月にはフル稼働に到達する見込み。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Tunisia

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量		11 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		0.97 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.23 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		58 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		25.6 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		2.30 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	0 %
	石油	42 %
	天然ガス	46 %
	原子力	0 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	11 %
(8) エネルギーの輸入依存度		42 %
(9) 石油の輸入依存度		43 %
(10) 輸入原油の中東依存度		NA %
(11) 天然ガスの輸入先	第1位	アルジェリア (100%)
	第2位	-
	第3位	-

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(11) : Natural Gas information 2017, IEA